

1 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？

- ① 日本書紀 ② 魏志倭人伝 ③ 風土記 ④ 古事記

2 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？

- ① 推古天皇 ② 聖徳太子 ③ 神武天皇 ④ 卑弥呼

3 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？

- ① 東北地方 ② 近畿地方 ③ 九州地方 ④ 中国地方

4 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？

- ① 志賀島 ② 壱岐 ③ 種子島 ④ 対馬

5 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？

- ① 土器 ② 青銅器 ③ 鉄器 ④ 石器

6 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？

- ① 乾燥 ② 多湿 ③ 高温 ④ 低湿

7 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？

- ① 祭り ② 戦い ③ 狩り ④ 交易

8 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？

- ① 倭国 ② 邪馬台国 ③ 奴国 ④ 小国

9 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？

- ① 光武帝 ② 桓靈 ③ 文帝 ④ 献帝

10 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？

- ① 武帝 ② 光武帝 ③ 始皇帝 ④ 玄宗

11 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？

- ① 古事記 ② 魏志倭人伝 ③ 日本書紀 ④ 後漢書

12 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？

- ① 三内丸山遺跡 ② 大森貝塚 ③ 吉野ヶ里遺跡 ④ 登呂遺跡

13 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？

- ① 法典 ② 地理書 ③ 歴史書 ④ 随筆

14 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？

- ① 木器 ② 石器 ③ 土器 ④ 金属器

15 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？

- ① 後漢 ② 魏 ③ 前漢 ④ 隋



① 隠す

赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う

解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける

言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『 魏志倭人伝 』と呼ばれます。		2 魏志倭人伝	☐
2	卑弥呼 は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。		4 卑弥呼	☐
3	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		3 九州地方	☐
4	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の 志賀島 で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		1 志賀島	☐
5	青銅器 は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに铸造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。		2 青銅器	☐
6	高温 で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。		3 高温	☐
7	銅鐸は、このような 祭り の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		1 祭り	☐
8	当時の日本は「百余りの 小国 」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。		4 小国	☐
9	光武帝 は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		1 光武帝	☐
10	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である 光武帝 は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		2 光武帝	☐
11	『 後漢書 』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		4 後漢書	☐
12	吉野ヶ里遺跡 は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		3 吉野ヶ里遺跡	☐
13	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な 歴史書 です。		3 歴史書	☐
14	金属器 には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		4 金属器	☐
15	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である 後漢 の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		1 後漢	☐

言えなかった用語ノート